

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2015年4月2日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

ストップ！ 消費税増税・社会保障改悪

4.1 いのちと暮らしを守れ！怒りの全国いっせい宣伝 安倍暴走政治に地方から審判を

4月1日、「いのちと暮らしを守れ！怒りの全国いっせい宣伝」が、札幌中心街でも、消費税廃止各界連や後期高齢者医療制度に怒る会、社保協などの共催で行われました。若者から高齢者まで、多くの方が足を止め、署名に協力してくれました。

毎年4月1日、消費税が導入された年から、その廃止や値上げを止めさせるため、諸課題の改善とともに取り組んでいます。昨年、「消費税は社会保障の充実のため」と増税しましたが、社会保障が改悪され、住民のくらしや地域経済が脅かされています。

今年4月から、年金(実質的)・生活保護の引き下げ、介護保険料の値上げ・介護報酬の引き下げ・介護制度の改悪が行われます。さらに、物価が上がり、安倍政権は、後期高齢者医療保険料の大幅値上げなどの医療

制度や労働法制の改悪、命を奪う戦争立法も成立させようとしています。改悪をやめさせましょう。



生活保護の引き下げやめて

1日 生活保護費支給日 各地で宣伝行動



4月から3回目の生活扶助費引き下げが行われました。最大10%の引き下げです。また住宅扶助費や冬季加算の引き下げも行われようとしています。4月1日の生活保護費支給日に、各地で宣伝署名行動が行われました。(写真は、厚別区で行われた行動の様子。12名が参加しました)

また、3月25日、「新・人間裁判」第1回口頭弁論が行われました。次回は6月10日です。生活保護制度を改善させる取り組みを上げましょう。

新婦人 介護カフェ

介護困っています！介護職員の処遇改善を

新婦人では、テーマを決めてカフェ形式で学習・懇談会をおこなっています。3月17日、札幌市北区で「介護カフェ」が行われ、35人が参加しました。「エッ介護保険が改悪されるって」と題して、介護事業所の責任者が講演し懇談しました。

参加者からは、「介護制度の改悪はひどい」「今でも困っています」、介護職員をしている子どもや孫が「賃金が安く処遇が酷いため、大変」、中には病気になり仕事を辞めたなどの発言もありました。懇談後、「この国は、老人に冷たいですね。この先不安です」など、政府へ提出する「私は言いたいカード」に書き入れました。



最高額は6150円。1600円・48.48%値上げの自治体も 道内の介護保険料明らかに
国の負担の大幅増額と自治体の軽減策が必要

北海道が道内の保険者(156)の第6期介護保険料を公表しました。道内全体では月額平均が5134円で前期比10.9%増です(引き上げが142、据置が10、引き下げが4)。保険料減免などの取り組みを上げましょう